

**社会資本整備総合計画**  
**巻・ 潟東インター周辺地区都市再生整備計画**

平成24年3月

新潟県新潟市

# 都市再生整備計画(第3回変更)

まきかたひがし  
巻瀧東インター

しゅうへん  
周辺地区

新潟県 にいがた新潟市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	にいがたけん 新潟県	市町村名	にいがたし 新潟市	地区名	まきかたがし 巻潟東インター周辺地区	面積	612 ha					
計画期間	平成	19	年度	～	平成	26	年度					
					交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

目標

- 【大目標】豊かな暮らしと地域間の連携を実現する拠点づくり  
 目標1：地域間連携の強化に向けたまちづくり交流拠点の創造  
 目標2：交通結節機能と連携した都市基盤の整備  
 目標3：地域住民の安全性、快適性、利便性の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

巻潟東インター周辺地区は、北陸自動車道の巻潟東ICを中心として、市町村合併前では旧巻町、旧潟東村、旧中之口村の3町村にまたがる地区であり、平成17年3月及び同年10月の市町村合併を経て誕生した新潟市においては西の玄関口となる地区である。この市町村合併によって、平成19年度からは新潟市は政令指定都市に移行する予定である。広大な優良農地に囲まれた中で、巻潟東インターを中心に4箇所の工業団地と田園集落が点在立地しており、巻潟東インターの西側にあたる旧巻町側の一部(漆山地区)は工業地域、準工業地域、第一種住居地域及び近隣商業地域からなる市街化区域(飛び市街地)に指定されている。

巻潟東インターへのアクセスは、旧巻町及び旧潟東村方面からは国道460号が、旧中之口村方面からは(主)長岡栃尾巻線が担っており、それぞれのアクセスルートを通じて、本地区は市町村合併前の旧3町村の接点に位置する。これまでは旧3町村それぞれの中心部から離れた位置にあることもあって、高速交通体系を活かした産業物流拠点、高速バス停留所を介した公共交通結節点としての面が重要視され、地域住民との関わりの中でのまちづくり、賑わいづくりの面が比較的立ち後れている地域である。しかしながら、市町村合併後は、一転して巻潟東インターを中心とする新潟市の西の玄関口としての役割を担うこととなったことを契機として、周辺地域の一体化促進、地域連携・地域交流の要となる拠点地区として、新たな面での発展・展開が期待されつつある。

巻潟東インター周辺では、昭和63年に旧巻町、旧潟東村、旧中之口村の3町村で「巻潟東IC周辺開発連絡協議会」を設立し、これまでインター周辺の活性化に取り組んできた。一方、新潟県としても平成14年度に策定された巻地域振興計画において、インター周辺の有効活用について「巻潟東IC利用者対策連絡会」を発足させて協議を行ってきた。平成15年度からは両者合同で、県、町村、学識経験者、住民らによって構成された「巻潟東IC周辺開発構想実行委員会」を設立し、委員会(4回)とワーキング会議(9回：うち4回は委員会と兼ねる)を重ねることで、巻潟東IC周辺の将来ビジョンを明確化した「巻潟東IC周辺開発構想」を取りまとめている。この「巻潟東IC周辺開発構想」では、基本理念として「豊かな暮らしと地域間の連携を実現する拠点づくり」を掲げており、従来からの交通結節点機能に加えて、今後は、地域連携に資する賑わい交流拠点の形成も念頭としたまちづくり展開が求められている。

課題

1. 市町村合併後における地域の一体化促進に向けたまちづくり交流拠点の形成

本地区は平成17年3月及び10月の市町村合併前までは旧巻町、旧潟東村、旧中之口村の3町村にまたがる地域であり、合併後は新潟市の西の玄関口として地域の一体化促進、連携強化が求められているため、地域のまちづくり交流活動とその活動の場となる拠点づくり(防災物資の受け入れ先としての活用も検討)が必要とされている。

2. 交通結節点機能と連携した都市基盤の整備

本地区が現在有する公共交通結節点としての機能を活かし、これと連携しながら、今後、地域連携・地域交流の要となる新たな拠点としての発展・展開を支援していくために、周辺の道路や公園、駐車場などの都市基盤の環境改善を図っていく必要がある。

3. 安全、快適な暮らしを支える生活基盤の整備

巻潟東インター周辺は、かつて広大な優良農地に囲まれた農村集落地帯であったが、高速道路インターの開設、工業団地の立地進展、高速バス利用の増加に伴って、周辺状況は大きく様変わりを見せている一方で、集落地内及びその周辺の基盤整備が立ち後れており、地域住民の安全で快適な暮らしを支えるために、生活基盤の整備促進を図っていく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

【新潟市・巻町合併建設計画】

まちづくりの基本方針・巻地域の役割として、「休憩施設などの都市と農村の交流の場の提供」「新市の西の玄関口として巻潟東インター周辺整備の推進」「インター周辺のパーク&ライド事業の実施」などが掲げられ、主要事業として、「巻潟東インター周辺整備事業」「(主)長岡栃尾巻線や国道460号等の幹線道路整備事業」「大通川公園整備事業」などが位置づけられている。

【旧巻町総合計画(第4次)】

町づくりの施策大綱において、「地域特性を活かした交流の場の整備と交流機会の創出」「自転車道や歩道の整備による高齢者や子どもなどが安全で安心できる快適な道路環境づくりの促進」などが掲げられている。

【旧潟東村総合計画(第4次)】

施策の大綱において、「地域の活性化や魅力ある地域づくりに向けた人、物、情報の交流推進」「国・県道や村道の計画的整備や歩道整備などの快適な道路環境づくり」などが掲げられている。

【旧中之口村総合計画(第4次)】

施策の大綱において、「本村で生産される農産物の販売を通じて地域のイメージアップによる村の活性化推進」「幹線道路や生活に密着した道路の計画的整備や歩道整備などの快適な道路環境づくり」などが掲げられている。

【旧巻町都市計画マスタープラン】

巻潟東インター周辺地区は「広域交通幹線である北陸自動車道の玄関口である巻潟東インターを核として、産業基盤を形成するエリアとして位置づけられ、職住を一体型とするため漆山企業団地背後地に住居基盤を付帯させ、新しい市街地として振興を図る」とされている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくり交流イベント回数	回/年	巻潟東インター周辺でのまちづくり交流イベント開催回数	地域間連携の強化に向けたまちづくり交流拠点の創造により、まちづくり交流イベント開催数を増加させる。	0	平成18年度	10	平成23年度
インター周辺路上駐車台数	台/日	巻潟東インター周辺の日平均路上駐車台数	交通結節点機能と連携した都市基盤の整備により、インター周辺における路上駐車を無くし、地域の拠点性を高める。	60	平成18年度	0	平成23年度
交通事故発生件数	件/年	漆山・番屋・中之口駐在所管内における年間交通事故発生件数	地域の都市及び生活基盤を整えることで、地域の交通事故発生件数を減少(約1割減)させる。	92	平成17年度	80	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業												
<p><b>整備方針1:周辺地域の一体化促進、連携強化に向けたまちづくり交流拠点を創出する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村合併後間もない地域の一体化及び地域間交流を促進するために、まちづくり交流拠点として賑わいイベントなどを定期的に開催可能な広場及び駐車を整備する。また、本空間においては、防災物資の受け入れ先としての活用も検討していくこととする。</li> <li>○ 巻潟東インター周辺地域の拠点性向上ならびに地域連携強化を図るために、事業PR活動や地域住民を巻き込んだソフト事業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 賑わい広場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕</li> <li>→ 駐車場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕</li> <li>→ バス待合施設等整備〔提案事業:地域創造支援事業〕</li> <li>→ (市)巻1-48・1-49・1-50・1-74・1-77号線整備〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ 賑わいイベント等運営協議会〔提案事業:まちづくり活動推進事業〕</li> <li>→ コミュニティバス運行社会実験〔提案事業:まちづくり活動推進事業〕</li> <li>→ 公共交通利用促進PR〔提案事業:地域創造支援事業〕</li> </ul>												
<p><b>整備方針2:交通結節点機能との連携を図りつつ、広域的な都市基盤を整備する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村合併後における地域の一体化促進及び巻潟東インター周辺アクセスの機能強化、安全性向上を図るために、巻潟東インターを中心として、旧巻町、旧潟東村、旧中之口村を相互に連絡する幹線道路を整備する。</li> <li>○ 新潟都市圏の交通円滑化の一環として、公共交通利用への転換促進による自動車交通の総量を抑制するために、まちづくり交流拠点の整備にあわせてパーク&amp;ライド利用環境の改善を図る。</li> <li>○ 地域の拠点性向上と周辺地域の一体化促進に向けて、広域的な地域間交流の場となる空間を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 一般国道460号 歩道整備(第5駐車場前バスベイ整備含む)〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ (主)長岡栃尾巻線 歩道整備〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ (市)漆山打越線整備〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ 一般国道460号大曾根バイパス整備〔関連事業〕</li> <li>→ 一般国道460号 歩道整備(潟東)〔関連事業〕</li> <li>→ 駐車場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕【再掲】</li> <li>→ 自転車等駐車場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕</li> <li>→ バリアフリー対応公衆用トイレ整備〔基幹事業:高質空間形成施設〕</li> <li>→ バス待合施設等整備〔提案事業:地域創造支援事業〕【再掲】</li> <li>→ (市)巻1-48・1-49・1-50・1-74・1-77号線整備〔基幹事業:道路〕【再掲】</li> <li>→ 賑わい広場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕【再掲】</li> <li>→ 大通川公園整備〔基幹事業:公園〕</li> </ul>												
<p><b>整備方針3:地域住民の生活環境向上とまちづくりに対する関心を高めるために、生活基盤の整備とまちづくり活動の場の提供を図る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域住民が安心して暮らすことができる生活環境の向上を図るために、安全な生活道路等の基盤整備や公共交通体系の充実を図る。</li> <li>○ 地域住民のまちづくりに対する関心を高め、積極的な参加を促すために、その活動の場の提供を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ (一)佐渡山巻線 歩道整備〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ (市)国見大曾根線整備〔基幹事業:道路〕</li> <li>→ コミュニティバス運行社会実験〔提案事業:まちづくり活動推進事業〕【再掲】</li> <li>→ 賑わい広場整備〔基幹事業:地域生活基盤施設〕【再掲】</li> <li>→ 賑わいイベント等運営協議会〔提案事業:まちづくり活動推進事業〕【再掲】</li> <li>→ 大通川公園整備〔基幹事業:公園〕【再掲】</li> </ul>												
<p><b>その他</b></p> <p>賑わい広場及び駐車場の活用について  巻潟東インターを中心とした地域の連携強化、一体化促進に向けて、賑わい広場及び駐車場空間を、地域住民の要望に応じた産地直売等の地域振興イベントや、地域防災活動、地域情報発信等のまちづくり交流イベントなど、巻潟東インター周辺の美化清掃活動などとあわせて、地域住民のまちづくり意識の向上、まちづくり活動参加の場として活用を図るもの。イベント開催時以外はパーク&amp;ライド駐車場として活用する。災害時には防災物資の受け入れ先としての活用も検討していく。  なお、平成18年8月に実施した出店意向調査の結果によれば、12件の回答者のうち、9件が出店してみたいとの意向を示している。希望する必要間口は2間前後、出店日は土日祭日の朝夕を中心に要望がある。</p>	<p>パーク&amp;ライド駐車場整備台数について</p> <table border="0"> <tr> <td>現況の収容可能台数(第5駐車場を除く)</td> <td>173台</td> </tr> <tr> <td>路上駐車台数</td> <td>約 60台</td> </tr> <tr> <td>旧3町村内の潜在的利用台数</td> <td>約 100台</td> </tr> </table> <p>パーク&amp;ライド利用意向調査(旧3町村内約9,700世帯対象)より、現在は利用していないが、今後、是非とも利用したいとの回答者の割合 11.9%  高速バス利用頻度が週3回以上の回答者の割合 12.7%  潜在的高速バス利用意向 <math>9,700 \times 0.119 \times 0.127 = 147</math>人  高速バス利用者アンケート調査より、  高速バス乗場までの交通手段が自家用車の割合 67.1%  潜在的パーク&amp;ライド利用意向 <math>147 \times 0.671 = 100</math>人</p> <table border="0"> <tr> <td>旧3町村外の潜在的利用台数</td> <td>約 60台</td> </tr> <tr> <td>居住別別駐車場利用者数と居住別人口規模から居住別別に潜在的利用率を推計して算出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約 390台</td> </tr> </table>	現況の収容可能台数(第5駐車場を除く)	173台	路上駐車台数	約 60台	旧3町村内の潜在的利用台数	約 100台	旧3町村外の潜在的利用台数	約 60台	居住別別駐車場利用者数と居住別人口規模から居住別別に潜在的利用率を推計して算出		合計	約 390台
現況の収容可能台数(第5駐車場を除く)	173台												
路上駐車台数	約 60台												
旧3町村内の潜在的利用台数	約 100台												
旧3町村外の潜在的利用台数	約 60台												
居住別別駐車場利用者数と居住別人口規模から居住別別に潜在的利用率を推計して算出													
合計	約 390台												

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,832	交付限度額	732.7	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路	地方道	一般国道460号(漆山)	新潟市	直	L=2,840m W=2.5m	平成19年度	平成26年度	平成19年度	平成23年度	440	438.1	438.1	438.1	
	地方道	主要地方道 長岡栃尾巻線	新潟市	直	L=1,200m W=3.0m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	106.1	106.1	106.1	106.1	
	地方道	一般県道 佐渡山巻線 (馬堀拡幅)	新潟市	直	L=720m W=2.5m	平成19年度	平成26年度	平成19年度	平成22年度	200	189.1	189.1	189.1	
	地方道	市道 漆山打越線	新潟市	直	L=1216m W=9.0m	平成19年度	平成26年度	平成19年度	平成23年度	601	378.6	378.6	378.6	
	地方道	市道 巻1-48号線整備	新潟市	直	L=600m W=6.0~6.5m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	130.2	130.2	130.2	130.2	
	地方道	市道 巻1-49号線整備	新潟市	直	L=140m W=7.5~9.0m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	19.5	19.5	19.5	19.5	
	地方道	市道 巻1-50号線整備	新潟市	直	L=120m W=6.0m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	24.1	24.1	24.1	24.1	
	地方道	市道 巻1-74号線整備	新潟市	直	L=200m W=6.0m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	27.8	27.8	27.8	27.8	
	地方道	市道 巻1-77号線整備	新潟市	直	L=280m W=6.0m	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	103.1	103.1	103.1	103.1	
	地方道	市道 国見大曾根線整備	新潟市	直	L=301m W=5.0m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	5.1	5.1	5.1	5.1	
公園		大通川公園	新潟市	直	A=18,625㎡	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	121.4	121.4	121.4	121.4	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		賑わい広場	新潟市	直	A=4,418㎡	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	102.0	102.0	102.0	102.0	
		駐車場	新潟市	直	A=13,962㎡ N=約390台	平成19年度	平成23年度	平成19年度	平成23年度	424.8	424.8	424.8	106.2	
		自転車等駐車場	新潟市	直	A=150㎡ N=約120台	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	15.1	15.1	15.1	15.1	
高質空間形成施設		バリアフリー対応公衆トイレ	新潟市	直	N=2箇所	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	33.1	33.1	33.1	33.1	
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,353.3	2,118.1	2,118.1	0.0	1,799.5

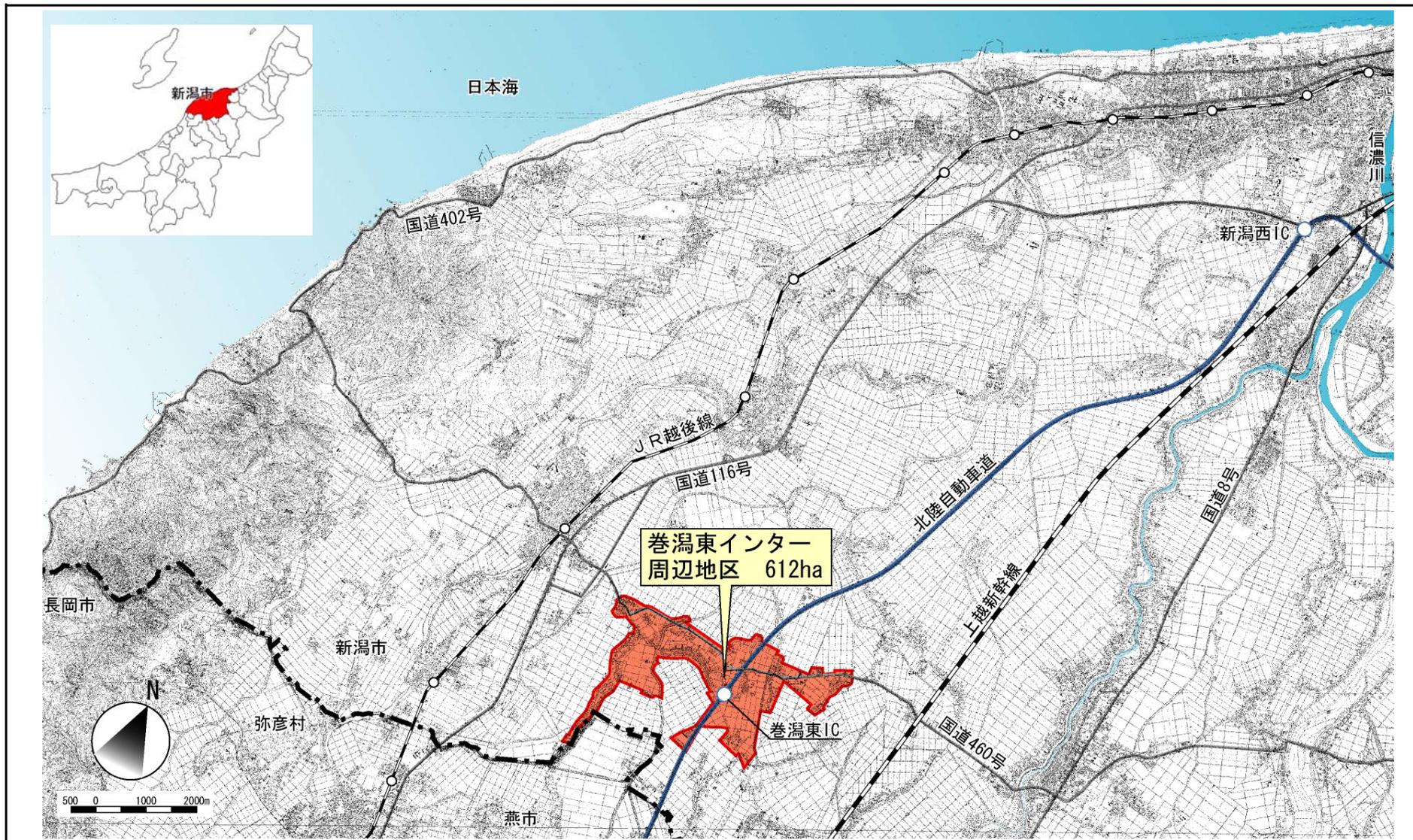
…A

提案事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	バス待合施設等整備	巻湯東インター周辺	新潟市	直	N=2箇所	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	15.5	15.5	15.5			15.5
	公共交通利用促進PR	-	新潟市	直	-	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	1.8	1.8	1.8			1.8
事業活用調査		-			-										
		-			-										
まちづくり活動推進事業	賑わいイベント等運営協議会	-	新潟市	直	-	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	4.2	4.2	4.2			4.2
	コミュニティバス運行社会実験	-	新潟市	直	-	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	10.8	10.8	10.8			10.8
合計										32.3	32.3	32.3	0		32.3
														合計(A+B)	1,831.8

(参考)関連事業												
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
一般国道460号大曾根バイパス整備	大曾根地内	新潟市	国土交通省	L=570m W=13.2~14.5m		○			平成19年度	平成23年度	400	
一般国道460号歩道整備(湯東)	今井~茨島	新潟市	国土交通省	L=660m W=2.0m		○			平成19年度	平成23年度	100	
合計											500	

都市再生整備計画の区域

巻潟東インター周辺地区(新潟県新潟市)	面積	612 ha	区域	新潟市漆山、東町、山島、柿島、河井、馬堀、並岡、栄町、国見、今井、大曾根、南、茨島、称名、打越の一部
---------------------	----	--------	----	--



## 巻潟東インター周辺地区(新潟県新潟市) 整備方針概要図

目標	<b>【大目標】豊かな暮らしと地域間の連携を実現する拠点づくり</b> 目標1：地域間連携の強化に向けたまちづくり交流拠点の創造 目標2：交通結節機能と連携した都市基盤の整備 目標3：地域住民の安全性、快適性、利便性の向上	代表的な指標	まちづくり交流イベント回数 (回/年)	0 (H18年度) → 10 (H23年度)
	インター周辺路上駐車台数 (台/日)		60 (H18年度) → 0 (H23年度)	
	年間交通事故発生件数 (件/年)		92 (H17年度) → 80 (H23年度)	

